

平成 20 年度事務事業評価表(内部管理業務)

①事務事業名		担当部課	部課コード	140200	TEL	2998-9227
事業コード	審査事務		0	出納室		
140202			グループ	審査担当		

総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向けて	施策	4節 財政運営	中柱		小柱	
---------	----	---------------	----	---------	----	--	----	--

行政改革大綱における行動計画への位置づけ

コード	事務事業見直しの推進	コード	事務改善活動等の充実・強化	コード	
3261		3621			

目的(何のために行うのか、具体的に)

適正な公金の支払いをするため

②事業の内容

対象(誰を、何を対象としているのか)

支払いの相手方(債権者)、職員、各課作成の伝票、及び関係書類

対象数

単位

平成 18 年度

93965 件

平成 19 年度

96494 件

業務の具体的な内容及び実施方法

1.関係書類と伝票を照らし合わせて、適正な支払い(処理)であるかを確認審査する。

2.職員への会計事務に関する指導、助言、及び研修会の開催

H コストの見直し 大きい 少ない ほとんどない 実施過程の見直し 大きい 少ない ほとんどない

19 20年度予算の方向性 現状どおり 増額 減額 終了

評価 平成19年度中に改善した点

稼働は平成20年4月のため、効果は未知数であるが、新財務システムの開発に伴って今までの問題点を洗い出し、見直しを図った。これにより平成20年度以降の事務の効率化・省力化・伝票類の削減が期待できる。

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		150	301	186
	決算(見込み含む)		142	262	
	含む人件費(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)
	正規職員人件費	5.90 人	54,280	5.45 人	51,197
	事業費合計		54,422	51,459	
	市民一人当たり(単位:円)		161.1	151.8	

④指	活動実績	項目名	伝票審査	計算方法	年間延べ伝票件数	単位	件	H 18	77191	H 19	80829	H20見込み		将来目標	
		債権者管理	債権者登録・変更件数	件	16774	15665									
	成果分析	適正な支払	支払等処理件数÷支払等に係る伝票件数×100	目標値		実績	100.00%	100.00%	100						
				%	達成率					実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1				

⑤一	評価項目	見直しの必要性	評価理由及び対応策
	コストの見直し	<input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	間違いのないよう本事業に取り組みねばならず、必ずしもコストの見直しにはとられない。
	実施過程の見直し	<input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	公金の支払いに係る伝票審査事務のため、適正な支払いができるよう、伝票処理の指導や審査方法を徹底していく必要がある。

業務を進めていくうえでの課題

伝票起票の遅れ等が見うけられるため、各所属に対して迅速な事務処理の徹底を図る必要がある。

⑤次	評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
		平成20年度における目標設定	各部署における伝票起票について、効率的かつ適正な会計事務の執行のための指導に努める。 支払いに対する伝票の枚数を削減して紙類の使用を減らすため、財務システムの効率的使用を助言・指導し、省力化に結びつけたい。	

21年度予算の方向性 現状どおり 増額 減額 終了

昨年度の評価結果及び上記評価による、今後の業務の進め方

審査の性質上、本来業務の改善を図ることは難しいが、伝票を起案する際に取りまとめる等の省力化の指導を今後も推進し事務の効率化に努めていく。

評価日 平成20年5月29日 記入者職氏名 出納室長 志村 洋子

⑥環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
施策の体系	施策の方向		